

発行 医療法人 永仁会

EI 永仁会だより

ホームページアドレス <http://www.eijinkai-hp.or.jp/>

第 6 号

住所：古川市旭2丁目5-1
TEL：0229-22-0063

■ 永仁会病院の理念

速く 無駄なく 快適に 心をこめて

■ 基本方針

1. 永仁会病院は消化器疾患と慢性腎不全の治療に、永仁会クリニックは糖尿病の診療に特化しその領域で地域医療に貢献します。
2. 地域の人々に対する健康教育と職員の研修を行います。
3. 患者様が納得して安全な医療が受けられるようにチーム医療を充実させます。

- 目 次 -

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1.平成17年度を迎えて | 6.災害情報ネットワーク動き出す |
| 2.委員会のご紹介 | 7.個人情報保護法について |
| 3.職場紹介 ~ 2階病棟 ~ | 8.乳がん検診について |
| 4.ACLS | |
| 5.食の歳時季「ちらし寿司」 | |



今年度もみんなで大頑張ろう!!

平成17年度を迎えて



医療法人 永仁会
理事長 宮下 英士

～ 5Sを心がけ理念の実践を ～

今年度も多くの新入職員の方々をお迎えして新年度のスタートが切れることを感謝申し上げます。

医療業界は今大きな変革期にあります。少子高齢社会の到来による国民医療費の収支バランスが取りにくくなり、病院機能の分化とそれに伴う一般病床から療養病床へのシフト、病床区分要件の高度化、診療報酬の引下げや据置き、IT化の推進など従来の変化とは全く異質の内容と広がり、スピードを伴っています。このような時期にこそ永仁会病院の理念である「速く、無駄なく、快適に、

心をこめて」の実践が必要です。この理念は、4月1日の辞令交付の際も申し上げましたが、例えばラーメン屋さんの場合を考えればよくわかります。「席に座って注文すると程なく注文したラーメンが出て、しかも味が良く美味しい。ボリュームも適切で料金は安く、更に店の方のお客様に接する態度・物腰が良ければこれ以上のことはありません。お客様は納得してお代を支払い、この次もまた食べに来たくなります。」

ラーメン屋さんは専門店として味にこだわりおいしいラーメンを出します。我々は医療の専門家としてその専門性を高め、安全で良質な医療を提供するよう常に努力をしなければなりません。しかも、心をこめて患者様をはじめ全ての人に接し、満足度を高めるよう行動することが不可欠です。

そのために、5Sを心がけるようにして下さい。5Sとは整理・整頓・清潔・清掃・躰です。この5Sを心がけて仕事を行えば的確な仕事が効率よくでき、成果も上がります。意識すれば誰でも簡単に出来ることばかりです。皆さんどうぞ宜しくお願い申し上げます。本年度も全職員の更なる活躍を期待しております。



平成17年4月1日の辞令交付式にて

医療法人永仁会の会議・委員会 組織



永仁会病院では適切な病院管理・運営による経営基盤の確立と良質で安全な医療の提供、そして患者様満足向上を期して各種委員会を運営しています。それぞれの会議・委員会・部会は職場で選出された委員が中心になって運営しています。委員会で審議・決定された事項は理事長の決裁を経て実行されます。その内容と活動をご紹介します。



委員会のご紹介

永仁会病院の委員会は、常に医療現場に求められているより安全で質の高いサービスを提供できるようにバージョンアップしています。その活動もより深く徹底した内容となってきました。今回は、今年度の私たち委員会の目標と活動内容をご紹介します。

経営・業務改善

【労働安全衛生委員会】

労働者（職員）の安全衛生管理とそのため審議あるいは決定をします。活動としては

1. 年度計画作成と実施
2. 防災訓練（5月・11月）・健康診断・感染対策
3. 購入機器・資材の安全衛生確認の実施
4. 事故報告義務の周知を行います。
5. 大規模災害対策の検討
6. 駐車場の自主管理

【業務改善委員会】

病院の理念と基本方針に基づき良質な医療が提供できるよう、更に職員が働きやすい職場環境づくりをめざし、組織横断的な業務改善を推進します。QC活動の推進事務局です。

【図書委員会】

医学の進歩に即応したタイムリーな医学情報の収集のために適切な図書管理を実行します。迅速な情報提供と適切な管理を行ないます。

【広報・情報管理委員会】

医療法人永仁会の理念、基本方針を広報することを目的としています。広報誌、ホームページ、パンフレットその他の媒体を企画・編集・発行します。また、院内情報システムの構築と保守を行ない、活用推進を図ります。情報システムは病院のインフラとして業務推進に重要な役割を担っています。

地域連携・個人情報

【地域連携推進委員会】

地域の医療ニーズを踏まえ、患者様の理解と地域医療機関の協力を得て専門性を発揮した安全で質の高い医療の提供を推進します。

【個人情報保護委員会】

個人情報保護に関する法令、関連規範の遵守および当院の「患者様の個人情報保護に関する院内規則」に、基づき患者様の個人情報の有用性に配慮しつつ適切に保護・管理することを目的とします。患者様個人情報の開示請求、個人情報の保護管理及び有効活用並びに訂正等請求、利用停止等には、院内規則に則り適切に運用します。

医療の質向上・安全対策・患者満足度推進（NST）

NSTは外来、入院患者に対して効果的な栄養療法を選択、実施する医療チームです。栄養状態に問題のある患者様に適切な栄養療法を選択・実施することにより、治療効果を高め、在院日数の短縮、医療費の削減等に貢献します。また、活動を通して医療レベルの向上と自己啓発を図ることを目的とします。

【褥瘡対策委員会】

院内褥瘡対策を討議・検討し、その効率的な推進を図ります。

1. 外来における褥瘡対策の推進
2. 病棟における褥瘡対策の推進
3. 情報の収集と周知をします。
4. 会議は月2回開催し、症例を報告・検討します。

【摂食・嚥下障害対策】

摂食・嚥下障害対策を討議、検討し、その効率的な促進を図るためNST傘下のチームとして活動しています。

医療の質向上・安全対策・患者満足度推進（医局・診療管理会議）

【医療ガス安全管理部会】

医療ガス（医療用に供する酸素、各種麻酔ガス、呼吸、医用圧縮空気、窒素等）設備の安全管理を図り、患者と職員の安全を確保する事を目的とします。定期的に院内の医療ガス配管のチェックをおこなっています。今年度の目標は配管と付属機器の点検を徹底し安全の確保に努めて参ります。

【中材・手術室運営部会】

手術室における業務が円滑に行われ、安全且つ適切な医療の提供が出来ることを目的に設置しています。

1. 手術スケジュールの調整
2. 手術室の安全管理・清潔管理
3. 機器、器具の保守・点検・新規購入の検討
4. 実績報告

今年度の目標は安全且つ適切な医療の提供が出来るよう、他部門と連携し、業務の円滑化をすすめます。

【診療録システム管理部会】

診療情報の適切な管理運営により、効率的な診療体制の整備を目的とします。各種診療録の管理とデータ分析、及び診療録の開示等について審議・検討します。今年度の目標は同意書の改善と疾病統計の精度を上げることが目標です。

【放射線管理部会】

放射線管理を円滑に行うため、放射線機器の安全で適切な運用を推進すると共に患者様の満足度を高めるため各部署との連携を密にした活動と調整・検討を行います。

【臨床検査・血液療法部会】

臨床検査及び輸血血液療法を安全で適正に推進するための活動をおこないます。

【医療機器管理部会】

医療機器の迅速・適切・計画的な保守・点検の実施及び課題・実績の把握並びに対策の検討・実行により常に最適状態に保持し、医療安全の確保を目的とします。

【救急当番対策部会】

救急当番日の業務を適切且つ円滑に行うことを目的に設置されています。今年度の目標としては患者様の身になった対応を行い、短時間で的確な情報を診察に反映させることです。

【食事委員会】

病態に合わせた安全でおいしい食事を提供し適切な栄養管理を推進するための委員会です。今年度の目標は患者様の病態に合わせたおいしいお食事が提供できるよう、システムの再構築を行います。

【薬事委員会】

薬剤の安全・適正な管理と使用を目的とします。基本活動は、

1. 薬剤情報の把握
2. 薬剤使用についての教育・指導
3. 新規薬剤の採用

今年度の目標は、医薬品情報の提供・医療安全の推進です。

医療の質向上・安全対策・患者満足度推進

【医療安全対策委員会】

当委員会は月2回開催され、患者様の安全確保を目標とする委員会です。ヒヤリ・ハット報告をリスクマネージャーが分析し、同じミスを繰り返すことのないよう、業務改善を図り、安全な環境づくりをシステム化しています。今年度は、職員個々の感性を磨いて危険予知訓練や基本マニュアル・手順の改善に取り組んでいきます。

【PSS委員会】

外来及び入院患者様とご家族の満足度向上を目的として活動しています。

1. 患者様満足度向上のための企画・調査・立案をします。
2. 患者様満足度調査及び課題の抽出・対策検討を行います。
3. 目的達成のため情報の収集・院内啓蒙活動を行います。
4. 優秀施設の視察・見学及び事例検討を行います。

【院内感染対策委員会】

院内感染症の発生を未然に防止すると共に発生した場合には感染の拡大を防ぐ対策を行います。

1. 職員教育
2. 手指消毒法の徹底
3. 病院環境
4. 患者用リネン類・職員ユニフォームなどの清潔維持の監視
5. 院内感染サーベランスの企画・実施
6. 抗生物質の適切な使用の指導・監視
7. 針刺し事故対策；事故予防対策
8. 各種マニュアルの作成

今年度も、チームワークを大事にして
メンバー全員が力を合わせて
ガンバります。

職場紹介 ～ 2階病棟～

2階病棟は主に、消化器管等の外科的処置が必要となる患者様や疾病の重い患者様が、プライバシーの保たれる全個室30床で快適な療養ができる環境にあります。又、ハイケアユニット(HCU)を有しておりますので、手術された当日の頻繁な治療や観察・看護が行われやすく、患者様ご本人はもちろんのこと、ご家族の方も安心できますよう配慮された環境にあります。又、ナースセンター前には当院南側の景色(田園風景)が一望できるラウンジが設けられ、患者様同士の交流の場になったり、長時間にわたる手術をお待ちになるご家族の食事処、時にはリハビリテーションの一環であるダンベル体操が行われる場となっております。

2階病棟の看護職員は平成17年4月現在21名であり、3交代体制で看護に当たっています。



患者様1人ひとりの背景を理解し、「もし、自分が患者様だったら・・・」と自分に置き換えて考えられるよう、又医療者の立場から、持っている知識や技術をケアやアドバイスに変えて患者様に貢献できますよう努力しております。体調が優れず入院された患者様が笑顔で退院される姿は、私たちにとっても嬉しく、励みになりますので、これからも《病から回復される力》に少しでもお手伝いしたいと思っています。

2階病棟 佐藤 智江



ACLS

前回の永仁会日よりでは、ACLS研修委員会の概要を報告してきました。

今回は、平成17年3月25日(金)に第4回院内1次救命講習会を実施した内容を報告します。

1グループ3～4名の人数で、状況設定を変えた3つのグループ(A、B、C)に分けて、古川消防署の救急救命士の方と当院のACLSのメンバー(インストラクター)が1～2名ついて一次救命講習を行いました。

グループAは高度ダミーを使用して心電図モニターの装着(リード、感度、誘導の順で)確認し、波形診断の後、再度CPRの継続までを我々インストラクターが実践した後に、実技練習を行いました。B、CグループはAEDを用いての実技練習を行いました。写真はそれぞれのグループでの実技練習を行っているところです。

各グループで、1人最低1回は実技練習を行い、全員が終わったら、次のダミーへと移動して、全員が全グループ(A、B、Cでそれぞれの実技)を回った後に認定試験を行います。試験は当院で作製したチェック表を基にインストラクターの判断で合格や、やり直し(基本的には「神の声」でアシストをします)を行いました。認定試験を行い救命講習修了者には、院内修了証を交付して受講者の意識向上を図っています。写真は当院オリジナルの修了書です。今後、1次救命講習だけでなく数ヶ月単位で高度ダミーを用いた2次救命の勉強会や心電図波形の勉強会を行い(時間的に余裕があれば、VFでの徐細動も実演し)定期的に継続していく事で少しでも急変患者に対して慌てることなく対処できればと考えております。



臨床工学科 及川 一彦

ACLSとは?

(Advanced Cardiovascular Life Supportの略称)
救命処置

食の歳時季 ~ ちらし寿司 ~



緑深まる6月。やわらかな日差しの中、気持ち良い季節がやってまいりました。青空の下、見渡す限りの緑色したジュータンの上で、手作りお弁当を広げて最高に素敵なランチ。うれし楽しお花見ちらし弁当。でも食べ過ぎはいけません。塩分も気になります。そんなあなたに、今回は減塩をポイントとした『ちらし寿司』の紹介です。

健康な人の1日の食塩摂取目標量は10g以下です。高血圧症や糖尿病、腎臓病がある方は食塩摂取目標を5~6g以下にする場合もあります。

例えば市販の五目ちらしの素を使用した場合の食塩量は、1食あたり4.5gで1日の目標量の約半分にあたります。バランスを考えておかずを加えるとさらに食塩量は増加します。

そこで今回は減塩のポイントを生かした『ちらし寿司』の作り方をご紹介します。

< 上手な減塩のポイント >

1. 素材の旨みを利用する。
2. 酸味や香辛料、香味野菜を利用する。
3. 新鮮な素材で調理する。

< 今回の調理実習でのポイント >

1. 減塩のポイントとして素材の旨みを利用するということが言われています。今回のちらし寿司の具は干しいたけの戻し汁を旨みとして利用しました。
2. 寿司飯には酢の分量を多くし、酸味をきかせています。そうすることで少ない食塩量でも味を感じるようにしました。
3. お浸しは食塩量を半分にする為にしょうゆをだし汁で割って使用しました。ご飯自体に味がついている為、汁物は控えてお茶で水分をとると上手に減塩ができます。

< 作り方 >

1. お米は洗って、通常よりも控えめの水加減で炊く。
2. 材料の下準備
 - 【中に混ぜる具】
 - ・ 干しいたけ；さっと水洗いしたのち、ヒタヒタの水で戻し、せん切りにする（戻し汁は具を煮る時に使用する）。
 - ・ かんぴょう；水洗いし、完全に戻るまでたっぷりの水から茹で、2cm程度に切る。
 - ・ にんじん；2cm程度にせん切りにする。
 - * しいたけの戻し汁をたっぷり準備し、かんぴょう、しいたけを柔らかくなるまで煮る。沸騰したら、みりん、しょうゆの順に加え、最後ににんじんを加え、汁気がなくなるまで煮て、冷ます。
 - 【上に飾る具】
 - ・ 錦糸卵；卵をほぐし、網じゃくしなどでこし、薄く焼いて、細く切る。
 - ・ 三つ葉；熱湯をさっとかけて1cm程度に切る。
 - ・ 甘酢しょうが；せん切りにする。
 - ・ ホタテ貝柱；横に(1/3)薄切りにする。
 - 【合わせ酢】
 - ・ 塩、砂糖を計量し、米酢と合わせておく。
3. 炊き上がったご飯を寿司桶にあけて、熱いうちに合わせ酢を入れ、ヘラで切るようにしながら混ぜ、照りを出す。
4. 煮ておいた具を加え、よく混ぜたら各自の分量を盛る。
5. 飾り用の具をバランスよく盛り付ける。

【 バランス 】

熱量 365 kcal
たんぱく質 15.2g 脂質 3.8g 繊維 2.6g
塩分 1.6g

【 材料 - 1人前 - 】

めし 150g,
米酢 15g, 砂糖 5g, 食塩 0.3g,
こいくちしょうゆ 6g, みりん 6g, 油 0.5g,
干かんぴょう(戻し量) 2g(15),
干しいたけ(戻し量) 2g(10),
すしえび 15g, ほたて貝柱 10g, 卵 20g,
にんじん 15g, 三つ葉 6g,
甘酢しょうが 6g, いりごま 1g,
きざみのり 0.1g

災害情報ネットワーク動き出す

～簡易無線等による医療機関情報網の整備について～

災害時に負傷者の救護活動の第一線を担う開業医等と消防機関や市町村の災害対策本部との連絡ができる体制を整備するために宮城県医師会が事業主体となって、各群市医師会と県内医療機関とが自由に連絡がとれる回線として簡易無線の設置事業を進めています。当院でも簡易無線の設置はいち早く取り入れており（写真）、今後数年以内に高い確率で起きると予想されている宮城県沖地震などの大規模災害にそなえています。



個人情報保護法について

2005年4月1日から個人情報保護法が施行されました。当院では患者様の個人情報保護につきましても適切に保護し管理することが非常に重要であると考えております。また、個人情報保護指針を定めて的確な履行に努めてまいります。詳しくは当院担当職員までお申し出ください。

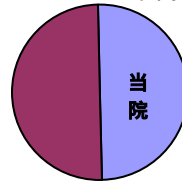
乳がん検診について

平成16年度の古川市における乳がん検診者数は別表のようになっております。残念ながら乳がんは年々増え続け、まもなく女性のがんのトップになるであろうという予測がなされています。古川市においても平成16年1年間の乳がん検診者数は2408件でその内当院で視触診で受診された方は991件で全体のほぼ4割を占めております。また、マンモを併用された方は古川市全体で1436件で、その内当院では709件、全体のほぼ5割の方が当院で受診されたことになりました。

平成16年度古川市乳がん検診者数

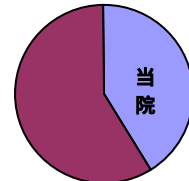
マンモ併用

709件/1436件



視触診

991件/2408件



<参考までに>

～手術後の下着等について～

乳がんは発症年齢が若く命の心配のほかにも悩みも多岐にわたります。当院では温泉・旅館・ホテル等旅先でも着用できる入浴着や、日常で使用するパットなど、手術後の生活を快適にするような品物を紹介しています。病後の生活への一助となるようどうぞお気軽にご相談ください。

永仁会病院ソーシャルワーカー 門脇まで

～ 編集後記 ～

今年も桜の季節とともに20名が職員として仲間に加わりました。人と職場に慣れ、これまで培ってきた力を発揮するとともに、向上心をもって専門性を磨いていくことを期待しています。今号では理念と基本方針を実践するために展開している当院の委員会組織を中心にご紹介させていただきます。皆様のご意見・ご感想をお寄せ願います。

(副院長 石崎 允)